

コスタリカ経済定期報告(2024年4月～6月)

2024年7月

在コスタリカ日本大使館 経済班

※出典:コスタリカ中央銀行(BCCR)、財務省、貿易省(COMEX)及び貿易振興機構(PROCOMER)。主な出来事については当地新聞記事¹⁾による。

1 主要経済指標

	2023年	2023年		
		4月	5月	6月
累積輸出総額 FOB(100万ドル)	18,154.4	6,194.6	7,980.3	9,675.0
累積輸入総額 CIF(100万ドル)	22,452.8	7,863.2	9,911.8	11,763.4
貿易収支(100万ドル)	▲4,298.4	▲1,668.6	▲1,931.5	▲2,088.3
財政収支対 GDP 比(%)	▲3.26	n.a.	n.a.	n.a.
消費者物価指数(CPI:2020年12月を100とする)	109.47	109.46	109.5	109.71
為替(通貨はコロン・1米ドルあたり中値・月末値)	574.24	504.98	515.44	528.99
政策金利(%) (年末・月末)	6.00	4.82	4.59	4.75
基本預金金利(%) (年末・月末)	5.36	5.24	5.04	4.50
外貨準備高(100万ドル) (年末・月末)	13,218.9	13,551.5	13,009.6	13,743.3

2 対コスタリカ直接投資額の増加

(1) コスタリカ貿易振興機構 (PROCOMER) は、2023年の対コスタリカ海外直接投資 (FDI) 額が39億2,100万米ドルとなり、同年の目標額である30億米ドルを31%も上回ったと発表した。同金額は、対2022年比で、24%も上回っている。

(2) PROCOMERのラウラ・ロペス・ジェネラルマネージャーは、「コスタリカの国としての魅力が、FDIにおいて好調な結果を達成する鍵となった。世界的に認知された民主主義国家であること、優秀な人材、広範な商業プラットフォーム、革新と持続可能な開発に対する開放性が、世界中の投資家の信頼を集めている」と述べた。

(3) FDIを分野別に見ると、製造業が55%でトップ、次いでサービス業が25%、観光業が7%、不動産業が7%、農業が2%、金融業と農業ビジネス、貿易業がそれぞれ1%となっている。特に注目すべきはサービス部門で、2022年の3億3,680万米ドルから2023年には9億6,550万米ドルへと87%も上昇している。

(4) コスタリカにとって、米国は最大の投資国であり、総受入額の71%を占め、次いでベルギーが11%、スイスとパナマがそれぞれ4%となっている。

(5) 同様に、PROCOMERが発表した2023年の新規投資案件は59件で、直近数年で最も多く、2022年に発表された36件に比べ64%の伸びとなった。セクター別では、サービス業が80%、製造業が12%、農業ビジネスが5%、商社が3%と

¹⁾ ラ・ナシオン紙、エル・ディアリオ・エクストラ紙、ラ・レプブリカ紙、エル・フィナンシエロ紙等

なっている。

(6) これらの新規案件の内、13件が広域首都圏（GAM）外に立地しており、これらの企業は、グレシア、オロティナ、サン・カルロス、ペレス・セレドン、リベリア等に立地している。なお、これらの新規案件の内、17件はフィンランド、イタリア、日本、ペルー、スイス、フランス等、米国以外の企業によって進められた。

3 世界銀行のコスタリカの2024年経済成長率予測

(1) 4月10日、世銀は、2024年のコスタリカ経済成長率が、3.9%となる見込みであると発表した。世銀が同年1月に発表した成長予測は、4%であったため、今回もほぼ横ばいである。なお、2025年と2026年の成長率は3.7%と予測している。

(2) 世銀のラテンアメリカ・カリブ海地域担当チーフエコノミストであるウィリアム・マロニー氏は、「コスタリカ経済は、主に海外直接投資やニアショアリング等の恩恵により、成長している」と述べ、主に半導体や医療機器の輸出国としてのコスタリカの実績を強調した。

(3) 一方、世銀が同日に発表したラテンアメリカ・カリブ海地域に関する報告書によると、同地域は大きな経済的発展を遂げたが、最近では停滞しており、進歩を損なっていると結論づけている。

(4) 世銀は、2024年のラ米・カリブ地域の経済成長率を1.6%、2025年には2.7%、2026年には2.6%成長すると予測しているが、世界の他地域と比べて最低の成長率である。

(5) 世銀は、同地域の多くの家計が逼迫しているのは、社会保障が減少し、平均賃金がまだコロナ禍前の水準に回復していないためであると指摘する。同行によれば、この経済停滞について、次の事由等を挙げている。

ア 低水準の投資と国内消費

イ 高い金利

ウ 財政赤字

エ 商品価格の下落

オ 米国、中国、欧州などの重要なパートナーの見通しの不確実性

カ 地政学的緊張

キ スエズ運河の寸断

ク エルニーニョ現象

4 コスタリカとUAEによる貿易投資に関する包括的経済連携協定（CEPA）の調印

(1) 4月17日、マヌエル・トバル貿易大臣とタニ・ビン・アフメッド・アル・ゼイユーディUAE貿易担当国務大臣は、コスタリカとUAEの貿易投資に関する包括的経済連携協定（CEPA）に調印した。

(2) 当国政府からは、チャベス大統領、トバル貿易大臣、ボガンテス科学技術通信大臣、タテンバック環境・エネルギー大臣、ソラーノ外務次官（多国

間担当)し、UAEからは、シェイク・モハメド・ビン・ザーイド・アル・ナヒヤーン殿下が出席(オンライン)した。

(3) 同協定により、コスタリカがUAEにとってラテンアメリカ地域へのゲートウェイとなり、海外直接投資を刺激し、双方の貿易を拡大することが期待される。

(4) チャベス大統領は、「UAEとCEPAを調印できたことを大変嬉しく思う。これは、中東諸国との初めての協定であり、新市場への参入という我が政権の戦略的目標に適ったものである。この経済パートナーシップによって、貿易と投資の機会が広がり、国民の経済的・社会的発展が促進されると確信している」と述べた。

(5) トバール貿易大臣は、「コスタリカは、より多様化し、世界経済へ参入するための明確な道筋を確立し、開かれた貿易を約束した国である。この協定は、我が政権が締結した(エクアドルとの二国間FTAに続き)2つ目の貿易投資協定であり、我々の貿易協定ネットワークを補完するものである。この協定が発効すれば、間違いなく、我が国のグローバル・バリューチェーンへの参加・強化を促進するだろう」と言及した。

(6) また、ゼイユディUAE国務大臣も、「コスタリカと締結したCPEAは、両国間の経済協力の新たな生産的な時代の到来を告げるものである。コスタリカは、ラ米地域で最も目覚ましい成長を遂げている国のひとつであり、多様化したサービス主導型の経済で、持続可能性と革新へのコミットメントが評価されている。また、コスタリカは同地域で最も投資しやすい国の1つであり、同国のルールに基づく開かれた貿易が、双方の民間部門に新たな機会をもたらす役割を果たすだろう。この協定は、2023年に取引額が6,500万米ドルに達した非石油部門貿易を盛んにするだけでなく、観光、再生可能エネルギー、食料安全保障、情報技術、製造業といった優先度の高い分野での投資、協力、知識共有の拡大に道を開くものである」と述べた。

5 独企業DHL Global Forwarding社による当国事業への増資

(1) 4月24日、独企業DHL Global Forwarding社(DHL社)はコスタリカの医療機器およびテクノロジー関連企業の輸送需要の増加に応じ、アラフエラ県のフリーゾーンであるコヨールに新社屋を竣工した。

(2) DHL社のティム・ロバートソン米州事業本部長によると、3,500万米ドル以上を投資し建設した新社屋は、将来的な事業拡大に備えるだけでなく、貨物の保管能力を30%増強することを目的としている。この新社屋は、アラフエラ県コヨールとファン・サンタマリア国際空港の近くに位置している。

(3) コスタリカへの投資は、我が社(DHL社)が中米において物流業界リーダーになるための長期戦略の一環である。当国は、DHLの事業戦略において重要なポジションを占めており、この3年間で7,000万米ドルを投資してきた。今般、医療機器、製薬、そして成長産業であるテクノロジー関連企業の原材料や製品の輸出入関連サービスの需要の高まりに応じるために、この新社屋を建設した。

(4) また、コスタリカは、独自の比較優位性を有しており、例えば、フリー

ゾーンに拠点を置く企業は税制優遇措置を享受できる。また、米国とは、地理的にも政治経済的にも近いことから、同国からの多くの直接投資を受けることができる。

(5) さらに、コスタリカは、複数の自由貿易協定 (FTA) を締結しており、国際貿易に対して開放的であることも、DHL社が投資を決めた理由の1つである。

(6) ロバートソン米州事業本部長は「我が社が提供する新規サービスは、コスタリカで投資増が見込まれる半導体産業、具体的にはインテル社のような企業をサポートするユニークな内容となっている」と述べ、「DHL社は、世界の半導体業界を支援している。コスタリカでは、半導体の組立、検査、基盤工程関連のサービスを提供する」と説明した。

6 コスタリカが2025年のOCED閣僚理事会 (MCM) の議長国に就任

(1) コスタリカが、2025年に仏のパリで開催されるOCED閣僚理事会 (MCM) の議長国に就任した。

(2) 今年5月2～3日にパリのOECD本部で開催されたMCMの閉会式にて、一般の議長国を務めた日本より、コスタリカのマヌエル・トバル貿易大臣へ、来年のMCM議長国の役目が引き継がれた。この決定は、OCED全加盟国38か国によるコンセンサスに基づくものである。

(3) トバル貿易大臣は、「この決定は、OECDにおけるコスタリカのリーダーシップが評価されたものである。」と述べ、「また、我が国は環境保護と経済成長を両立しつつ、医療機器や半導体などの高付加価値産業の多様化を進めてきた」と強調した。

(4) また、同大臣は「来年のMCMにおいて、我が国は、貿易問題、サプライチェーン強靱化、デジタル経済を優先事項にしたい」と述べた。今後、コスタリカは、2025年の会議日程や議題等をOECD事務局と調整の上、決定する。

7 コスタリカ電力公社幹部等によるファーウェイ主催の会合への出席

(1) 5月15日、コスタリカ電力公社 (ICE) の労働組合が、同社が進める5G機材・ソリューション調達入札案件の応札企業の1社である中国のファーウェイが主催した会合に、同社の幹部を含む約70名の職員が出席したことを告発し非難した。

(2) ファーウェイは、4月26日、ICEのみを招待し、ヒルトン・ラ・サバナ・ホテルで会合を開催し、生演奏や高級なお酒や食事を振舞った。告発された情報によれば、ファーウェイ・コスタリカCEOの名義で招待状が配布されており、その招待状には、「我々が開催するIndustrial Intelligence Summit 2024にICEの皆様のみをご招待したい (de manera exclusiva para el ICE)」と明記されていた。ICE労組は、会合に参加したICEの数名は、契約、購入および入札において意思決定を担う役職に就いていることを非難した。

(3) ICEの労働組合は、ルイス・ディエゴ・アバルカ通信部長とマルコ・アクーニャICE総裁に対し、早急な対応を求めた。同組合は、ICEが進める5G機材・ソリューション調達入札案件において、ファーウェイも同案件に応札して

いることから、ICE職員らの同会合への出席が公務員汚職・不正蓄財禁止法に抵触する可能性があるとも考える。

(4) ICE役員らは、同労働組合からの苦情を認識しており、潜在的な責任を特定するための調査を実施するために必要な措置を講じたと述べた。

8 コスタリカ電力公社総裁による同情報通信部長等の解任

(1) 5月29日、コスタリカ電力公社(ICE)マルコ・アクーニャ総裁は、ロベルト・キロス電力部門長とルイス・アバルカ情報通信部門長の解任を発表した。

(2) 同総裁によると、役員を含むICE職員がファーウェイが主催した会合に参加したことが、アバルカ氏の解任理由である。ICEにとって、同社はICEが進める5G機材・ソリューション調達のための入札案件に参加する一企業であり、ICE職員が当該会合に出席した事実は、ICE全体のイメージにも影響を与えた。

(3) キロス氏の場合は、ICEが電力供給制限警報(計画停電)に対する対応不足等が解任理由である。エルニーニョ現象による水力発電所の水不足は以前から予測できたことであり、同氏は事前の情報入手を怠っていたと、同総裁は説明した。

9 日本の観光クルーズ船「飛鳥II」のプンタレナス港への寄港

(1) 6月14日、乗客485名、乗組員520名を乗せた日本の観光クルーズ船「飛鳥II」がプンタレナス港に到着した。日本のクルーズ船がコスタリカに入港するのは今回が初めてである。

(2) コスタリカ観光庁(ICT)の観光管理部長であるグスタボ・アルバラード氏は、日本のクルーズ船がコスタリカに到着したのは今回が初めてであり、同船の旅程にコスタリカが組み込まれたことは革新的で挑戦的なことだと評価した。「間違いなく、コスタリカの自然の美しさとユニークな体験を楽しむことに興味を持つ、従来とは異なる目的地を目指す観光客の可能性を広げるものである」と語った。

(3) 同船の乗客は、プンタレナス市、タルコレス川のボートツアー、サン・ルイス市及びサン・ラモン市の吊り橋、ナランホ市のコーヒー農園の見学等ができる。首都サン・ホセの中心部のツアーも含まれている。

(4) アレクサンデル・サラス駐日大使は、クルーズ船「飛鳥II」のコスタリカ来航は、日本の他の海運会社のコスタリカ訪問を促進するだろうと述べた。同大使は、飛鳥IIの到着は、6月27日にプンタレナスに停泊する予定の1800人乗りのピースボート(日本ピースボート財団が実施)とともに、来年のコスタリカと日本の外交関係樹立90周年を祝う特別な前哨戦であるとした。「今後さらに(これらの船が)頻繁に来航し、我々の美しい国でより長く滞在してもらえんことを願っている」と付け加えた。

(了)